

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 750 号 令和 5 年 11 月

目次

○令和 5 年度第 1 回支部長会議開催報告	1
○自由民主党山口県支部連合会「政策聴問会」について	3
○リレー随筆（山口支部 遠藤先生）	4
○ローマに行ってきました（徳山支部 白永先生）	5
○岩柳支部研修会の開催について（岩柳支部 古澤先生）	7
○豊福肇先生のご逝去を悼む（山口大学支部 高木先生）	8
○事務局だより	8

令和 5 年度第 1 回支部長会議開催報告

常務理事 酒 井 理

令和 5 年 10 月 19 日（木）午後 1 時 30 分から獣医師会館会議室において、対面とオンラインの併用により令和 5 年度第 1 回支部長会議が開催されました。

田中尚秋会長から平素からの会務運営の協力・支援に対する謝辞等の挨拶の後、次の 3 件の議題について協議していただきました。

議題 1 令和 5 年度上半期の事業実施状況

議題 2 災害時動物救護対策

議題 3 支部設置規程の一部改正

議題 1 では、年度前半の事業実施状況について報告しました。主な内容は次のとおり。

- ・会員数は、令和 4 年度末の 377 名から 2 名増えて、本年 9 月末で 379 名
- ・職域別では、小動物分野 141 名、産業動物分野 112 名、獣医公衆衛生分野 66 名、研究分野 25 名
- ・先月、山口大学支部の豊福肇先生が逝去された
- ・日本獣医師会会長表彰に 2 名、中国地区獣医師会連合会会長表彰に 3 名、本会会長表彰に 6 名の先生方が受賞された（順不同、敬称略）

◆日本獣医師会会長表彰

河上 茂(岩柳) 森 章(山口)

◆中国地区獣医師会連合会会長表彰

作間誠司(山口) 山本幾治郎(宇部厚狭)
中市統三(山口大学)

◆山口県獣医師会会長表彰

吉母修栄(山口) 片桐秀信(宇部厚狭)
中村達義(長北) 野村恭晴(長北)
工藤洋幸(豊浦) 西藤裕一郎(県庁)

- ・ 8 月 27 日に山口市で開催した山口県獣医学会には、産業動物関係 7 題、小動物関係 18 題、獣医公衆衛生関係 6 題の発表があり、参加者が 100 人を超える盛況な学会となった
- ・ 9 月 30 日～10 月 1 日に鳥取県米子市で開催された獣医学術中国地区学会には、本県から、産業動物関係 5 題、小動物関係 16 題、獣医公衆衛生関係 5 題の発表があり、山口大学の「大学キャンパス内の野良猫数管理において奏功した事例」が中国地区学会会長賞に選ばれた
- ・ 山口獣医学雑誌は、現在、投稿論文を募集しており、第 50 号記念号として座談会の開催を検討している
- ・ 本会主催の講習会は、9 月に公開講座として産業

- 動物講習会を開催し、畜産農家等も含め57人の参加があった
- ・小動物講習会は、1月14日(日)と2月25日(日)に開催することとして、準備を進めている
 - ・獣医公衆衛生講習会は、中国地区獣医師会連合会の講習会を兼ねて、11月19日(日)に、公開講座として、「ワンヘルス」をテーマに、対面とオンラインの併用で開催する
 - ・家畜衛生対策・畜産振興支援では、家畜伝染病発生速報等に関する情報を提供するとともに、各地で開催された共進会の優秀者に地元の支部長から獣医師会会長賞を授与していただいた
 - ・公衆衛生の向上普及啓発等では、県の動物由来感染症対策に協力するとともに、山口大学共同獣医学部と県環境保健センターでS F T Sが疑われる犬猫の検査を実施していただき、今年度、5件の猫の陽性事例の臨床症状をHPに掲載した
 - ・狂犬病予防注射は、令和4度、前年に比べ1,170頭減少し49,109頭となったが、今年度の集合注射も、昨年度に比べ1,342頭減少した
 - ・狂犬病予防啓発ポスターの作成、狂犬病ワクチンの確保等は例年どおり実施しており、山口大学に委託しているワクチン接種に伴う死亡犬等の原因調査は、調査が必要な事案はなかった
 - ・狂犬病予防注射の啓発では、新たな取り組みとして、4月～6月の間、「エフエム山口」のラジオ番組で呼びかけを行った
 - ・「学校飼育動物の保健衛生指導」と「傷病鳥獣保護救護」は、今年度も動物病院の先生方の協力を得て実施している
 - ・盲導犬使用者への支援や、動物愛護・管理に関する啓発等の事業は、例年どおり実施している
 - ・動物医療相談は、傷病鳥獣や動物病院に関する相談が19件あった
 - ・個体識別措置の普及については、ホームページ等で啓発するとともに、希望する動物病院に普及啓発用マイクロチップを配付した
 - ・「チーム獣医療」体制づくりでは、新たに誕生した愛玩動物看護師との連携について、小動物部会で検討している
- ・県獣医師会館新規取得検討では、6月と10月に検討会議を開催し、新会館の具体的な施設・設備等について検討している
- 議題2**では、災害時動物救護対策について報告しました。主な内容は次のとおり。
- ・本年6月、山口県と本会との「災害時における動物の救護に関する協定」が締結された
 - ・調印式会場には、多くのマスコミ関係者が詰めかけ、この課題への関心の高さが窺えた
 - ・県は、「災害時における動物の救護に関する協定実施要領」、「山口県動物救護本部設置要綱」、「山口県被災動物救護実施要領」を定め、県、市町、本会等関係者の具体的な取組みを示した
 - ・本会に協力を求められているのは、①動物愛護センターに収容された怪我をした被災動物の治療が困難な場合の動物病院での処置、②避難所でのペットの健康管理指導、③動物愛護センターで受け入れが困難な場合の一時預かり
 - ・これらの県の規程を受けて、9月に災害時動物救護対策委員会を開催し、本年3月の委員会で検討された「本会の被災動物救護実施要領」案について、最終的な意見を聞いた
- 議題3**は、支部設置規程の一部改正(案)について説明しました。
- ・美祿支部長から支部会員の減少等により、令和5年度末をもって支部を解散したいと相談があった
 - ・美祿市の狂犬病集合注射は、今年度から宇部厚狭支部で実施しており、その他の美祿支部の事業を令和6年度から宇部厚狭支部に所管することとし、あわせて、名称を「宇部厚狭支部」から「宇部支部」に変更することとしている
 - ・令和3年度第1回理事会において承認された「玖珂支部」から「岩柳支部」への名称変更についても、今回あわせて改正することとしている
- 今回報告した「山口県獣医師会被災動物救護実施要領(案)」と「支部設置規程一部改正(案)」については、次回の理事会で協議していただく予定です。

自由民主党山口県支部連合会「政策聴問会」について

常務理事 酒 井 理

令和5年10月23日(月)、かめ福オンプレイス(山口市)において、自由民主党山口県支部連合会が主催する「政策聴問会」が開催され、田中尚秋会長と私が出席しました。

関係団体からの要望・意見等を聴いて、国や県の予算や施策に反映させるために、毎年開催されてい

るものです。

全国家畜衛生職員会から本会会長宛てに提出された「家畜衛生関係獣医師職員の確保及び処遇改善に関する要請書」等を踏まえ、本会からは、「ワンヘルスの推進」と「公務員獣医師等の処遇改善」についての要望を行いました。

ワンヘルスの推進について (重点)

我が国の国民生活や経済活動に多大なる影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症、現在西日本で感染が拡大している重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、重症急性呼吸器症候群(SARS)、新型インフルエンザ、狂犬病、エボラ出血熱等の新興・再興感染症はいずれも動物由来の人獣共通感染症であり、その予防やまん延防止のためには人と動物の健康と環境の健全性を一体的に守るワンヘルスの実践に基づく感染症対策が世界的に必要とされています。

令和5年3月「自由民主党ワンヘルス推進議員連盟」が設立され、さらにG7広島サミットにおいても、ワンヘルスが重要な課題として位置づけられました。

しかし、現在、国や多くの地方自治体においては、ワンヘルスの実践体制は省庁や部局間で縦割りとなっていることから、動物由来の新興・再興感染症の発生を事前に察知することは困難であり、必要な感染症対策が後手に回り、再び今回の新型コロナウイルス感染症のような甚大な被害を招くことが強く懸念されます。

また、これらの緊急かつ広範な課題の解決に向けて、その中心的な役割を担っている獣医師に対する社会的な期待及び要請は極めて大きなものとなっています。

しかしながら、県民の皆様の期待に応え得る獣医療提供のための環境整備や獣医師の処遇は未だ十分なものとは言えない状況にあります。

つきましては、獣医師及び獣医療に関する施策の整備・充実への支援について下記のとおり要請いたしますので、ご高配を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 動物由来の人獣共通感染症等に適切に対処し、安全・安心な人と動物の共生社会を構築するため、ワンヘルスの推進に関する条例を定める等、関係部局が連携して感染症に対する危機管理施策の整備・充実及びワンヘルスの実践体制の構築を図ること。
- 2 職域における獣医師の偏在を是正するため、公務員獣医師等について、公務員医師等に準じた獣医師独自の給料表の創設、期限付きの初任給調整手当に代わる恒久的な給与改善措置等の施策を講じること。

《参考》

①ワンヘルス (One Health)

ワンヘルスとは、ヒトと動物、それを取り巻く環境(生態系)は、相互につながっていると包括的に捉え、人と動物の健康と環境の保全を担う関係者が緊密な協力関係を構築し、分野横断的な課題の解決のために活動していこうという考え方。

福岡県では、「福岡県ワンヘルス推進基本条例」等を制定(所管:保健医療介護部)し、県民、事業者、関係機関等が一体となった取組みを進めている。

②公務員獣医師等の処遇改善

徳島県や福岡県においては、公務員獣医師を高度な専門職ととらえ、公務員医師等に準じた「特定獣医師職給料表」を創設した。

また、多くの都道府県において、公務員獣医師の初任給調整手当の拡充を図る等の措置がとられている。

リレー随筆

山口支部 遠藤 泰治
(山口農林水産事務所畜産部)

久しぶりにリレー随筆のバトンを受け取りました。

現在の部署は4年目で、長期研修の少し前に生まれた娘ももうすぐ3歳になります。娘が歩けなかった頃は一緒に家で過ごすことが多く、外に出る時は背負って散歩(寝かしつけ)するぐらいでしたが、安定して歩けるようになってからは外遊びをするようになりました。

休日は娘と一緒に公園で遊ぶことが多く、特に好きなのはブランコ、滑り台、スプリング遊具(パンダ等の動物模型の上に乗ってゆらゆら揺れて遊ぶ遊具)です。最初は一人で乗れたのはスプリング遊具ぐらいで、ブランコは娘を膝に乗せて一緒に漕ぎ、滑り台も一緒に滑っていました。今では全部一人で遊ぶことができ、娘の成長を感じています。

外遊びをすると体の成長に良く、さらに適度に疲れしてくれるおかげで寝つきが良くなるので親子共に利点があるのですが、外に行けない雨の日や暑い日は外で遊べないのでどうしても寝つきが悪くなり困ります。梅雨の時期は雨の日が多く、夏は暑すぎて外遊びが出来ません。また娘は虫がとても苦手で、トンボや蝶まで嫌がり、ショウジョウバエのような小さい虫でも目ざとく見つけて怖がるため、虫の多いという意味でも梅雨と夏は外遊びに向かず、憎い季節でした。これらの季節や天気の良い日は家で絵本を一緒に読む、絵を一緒に描く、歌の動画を見せる(何故かコンピューターおばあちゃんが好き)、室内遊具のある施設で遊ぶ、スーパーと一緒に買い物に行く等して対応しています。ですがどうしても外遊びに比べて運動量が減ってしまうので、夏休み明けの幼稚園では先生にちょっとぼっちゃりしたねと言われてしまったようです…。現在は元通りの体型ですが。

そういえば娘は今年の4月から幼稚園に通っています。娘は今年の4月までは同年代の子と接する機会があまりなかったため人見知りでしたが、幼稚園に通うようになってからはお友達の名前を覚え、一緒

に何をして遊んだかまで話すようになりました。子供の成長は早いものとしみじみ思います。

娘は卵、肉類を全く食べず、野菜もあまり食べませんが、魚、青汁、カレー、うどんは好きで、何故か梅干しも酸っぱいと言いながらよく食べます。そのため外食は専ら回転寿司、うどん屋、カレー屋です。

眠いと機嫌が悪くなり、「いや、もういや」と言いまくり、夜9時を過ぎているにも関わらず「こうえんいきたい」「ようちえんいきたい」「おすしたべたい」等、次々に無茶な要求をしてくる。こうなるともう寝かせる他ないので、抱っこ散歩やドライブで寝かせています。

いつまで一緒に遊んで貰えるかわかりませんが、幼稚園の年長、小学生、中学生、高校生へと育ていく娘の成長を楽しみにこれからも頑張っていこうと思います。

今回は、山口農林水産事務所畜産部 田代久宗先生にお願いします。



娘の描いたウサギさんの絵

ローマに行ってきました

徳山支部 白 永 伸 行

(シラナガ動物病院)

9月10日から1週間、イタリアはローマに行ってきました。某整形外科器具輸入会社さんから「ローマに現地集合で旅費は実費」だけドインプラントのシンポジウムにご招待いただき、欧州にはいった事がなかったので絶好の良い機会と思い、参加しました。その合間に回ってきた、イタリア見聞録をご披露します。

イタリアにはドバイ経由で世界一の航空会社と呼ばれるエミレーツ航空を利用しました。夜中0時に羽田をたち、ローマは時差がマイナス6時間ありますが、トランジット3時間を含めて19時間かけて午後1時に到着しました。シンポジウム会場はローマ市内の森の中のホテルにあり、我々日本人参加一行もそのホテルに缶詰です。ローマはイタリアの内陸にあり、日本と同程度の気温ではありますが、風通しはいいけど日差しが強く、チェックインした夕方は気温が28度でもホテルのプールで結構数の老若男女が日光浴をしていました。

自由時間はできるだけ効率よく観光や買い物をしたいので、個人ガイドを雇って（ローマ在住日本人）、早速夜にローマ市内に出かけました。まずは映画「ローマの休日」でオードリヘプバーンが座ってジェラードを食べるシーンで有名なスペイン広場です。現在は階段に座ったり、それこそ寝そべったら罰金です。警官も結構見張ってます。階段下の噴水は彫刻家ベルルーニが手がけたそうです。ちなみにスペインと名を打ってますが、単にスペイン大使館が近くにあるだけです。続いてはこれも有名なトレビの泉に出かけました。この時間で日が落ちていましたが、夜のトレビの泉もなかなか美しいものでした。泉にまつわる言い伝えとして、背を向けてコインを1枚投げればまたローマに戻って来られる、2枚で大切な人と永遠に一緒にいることができ、3枚だと恋人や伴侶と別れることができるとありました。私は7枚ぶち込んできましたがどうなるのでしょうか？ちなみに泉に投入されたコインはウンボで毎日回収するほどの量がありながら泉の整備に予算がないとのことで、ファッションブランドのFENDIが資金を出しているとのことでした。

コインといえばユーロを調達しましたものの日本では札しか交換できず、コインの調達は紙幣をまず崩さなくてはなりません。チップに関してはイタリアはさほど必要とせず、感動したら50セントほどでいいのですが、何かとコインが必要です。スペイン広場の近くでコインを崩すために水を購入でもいいですけど、せっかくなので世界で2番目に創

業したアンティコ・カフェ・グレコ (Antico Caffè Greco) というローマ最古のカフェ・バルがあるので早速エスプレッソを飲んでみようかと入店。カッコ良すぎる女性ソムリエの入れてくれたエスプレッソはもうたまりません。このお店はカサノヴァや詩人ゲーテ、バイロン、メンデルスゾーン、ワーグナー、マーク・トウェイン、オーソン・ウェルズなど歴史上の文化人や芸術家などが訪れたそうで、美術品や芸術品を数多く展示してました。エスプレッソは観光客価格で、小銭調達の予定で大枚を支払ってしまいました。

トレビの泉を見た後にパンテオン（テルマエ・ロマエで有名なハドリアヌスが建てた墓）に立ち寄ったところで夕食の時間でしたが、時差ボケと機内食で満腹のため食べられません。ローマ定番観光地の路上ではお店の屋外席がどこも満席で、21時でもディナー客が溢れてました。遅めの夕食の理由を聞くと、そもそもランチが大体13時から14時30分ぐらいまでゆったり楽しみ、終業が18時でそこから夕食に繰り出すとのこと。でまったりディナーで締めはジェラードを食べる！というので有名なジェラード店に行きました。1900年創業のローマで大人気の老舗ジェラートブランド「Giolitti (ジョリッティ)」に連れて行ってもらいました。ジェラードはダブルで、イタリアンジェラードといえば、一番人気はピスタチオとのこと。そこにチョコ系と生クリームをトッピングで7ユーロほど。とても美味しくとてもでかいのでイタリアを満喫してる気分でしたが、最近東京に店舗ができたそうで、有楽町にありますから東京出張の際には行かれてみてください。絶対ピスタチオです。

2日目は午後から開幕なのと、時差ボケでほぼ寝てないので朝からカトリック教の総本山、サン・ピエトロ大聖堂に行きました。朝7時前に並んで15分ほどで入れましたが、結構厳重なセキュリティだなどと思えば、実はその時点でバチカン市国の入国ということでした。ミケランジェロの彫像「ピエタ」がどれかわかりませんでした。ベルルーニも建築に参加した大聖堂はサン・ピエトロ広場とともにスケールが圧巻でした。古代ローマの人々は人員の駆り出し方がハンパないぐらい巨大な建築物です。今年の正月に徳島の犬塚美術館で満足した自分が恥ずかしかったです。聖堂内では朝からミサがあちらこちらで行われており、カメラを向けると叱られました。屋上はクーボラと呼ばれるドームになっており、ここに登りました。キリストと13人の使徒の

巨大な像が並ぶ背面からまたさらに人一人分登ると待っている絶景ではありますが、かなり登るのに苦労しました。日本の城の天守閣で人一人分を想像してください。水の準備と体力に自信があってもエレベーターなし登りコースは選択しないほうがいいです。命の保証ができません。

ローマ市街地は町中が美術館とはよく言ったもので、サン・ピエトロ大聖堂から歩いて10分でサンタンジェロ城に行く間のテベレ川沿いはおしゃれ以外の何者でもありません。サンタンジェロ城は西暦135

年に建てられ、ローマ市内が一望できるとても長めのいいスポットです。屋上には大天使ミカエルの像がそびえていました。ここでランチをとってホテルに戻り、シンポジウムに出席しました。実はこのサンタンジェロ城と橋の間で「ジョジョ第5部」の市街地戦が繰り広げられたことを思うとサブイボがたくさんできてしまいました。とても情報量が多すぎる今回の旅は次回「ポンペイで鍵を見つける」編へ続くことにします。



intrauma シンポジウム
世界の高明な獣医整形外科医が集まって整形外科プレートの最新知見と研究発表が行われた



ホテルのプール
ローマの日差しは強いのでサングラス必須



スペイン広場
観光客に紛れて警官多数
目の前はハイブランド通り



夜のトレヴィの泉を横から
20時でこの人数に注目
真正面からはいい写真は無理



アンティコカフェグレコの店員
昼からカクテルの注文が入る



ローマの細い路地でのレストランの屋外席



ジェラード店「GIOLITTI」
真ん中はジェラードをいただく筆者



サン・ピエトロ大聖堂の広大な内部



クーポラ（屋上）からの眺め
これがバチカン市国の全景に当たる



サンタンジェロ城の外観

岩柳支部研修会の開催について

岩柳支部 古澤 剛

(柳井農林水産事務所畜産部)

10月19日(木)、岩国市民文化会館において、岩柳支部研修会が開催されました。

研修内容は、藤本博美先生をお招きし、「笑顔相続するために」の講演をしていただきました。

会員20名余りが参加する中、参加者は熱心に講師先生の話に聞き入り、最後の質疑応答では挙手が止まらず、司会者が「この後の質問は、後程の懇親会

で」と制止したほどでした。

様々な実話事例を交えながら、解りやすく「相続」が「争続」にならないようにポイントを押さえて話され、大変勉強になった会員が多かったと思います。

御高齢の会員または親が高齢の会員の皆様方、早めの準備をして、どうか「笑顔の相続」を！



令和5年10月19日岩柳支部研修会「笑顔相続するために」
藤本博美講師のお話を聞く会員

訃報

豊福肇教授のご逝去を悼む

山口大学支部長 高木光博

(山口大学共同獣医学部)

山口大学共同獣医学部の豊福肇教授が、令和5年9月21日(木)に逝去されました。

先生は1985年北海道大学獣医学研究科を修了後、厚生省に入省されました。厚生省生活衛生局、WHO食品安全部、国立医薬品食品衛生研究所、国立保健医療科学院で勤務され、2013年に本学部教授として赴任されました。

この間特に食品衛生管理の研究分野において、世界の第一線でご活躍されてきました。長年にわたり

尽力されたその功績は多大でありました。

葬儀は関係者等の参列の中しめやかに営まれました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

※豊福先生には、山口獣医学雑誌(第49号2022年)に、総説「Hazard Analysis and Critical Control Point (HACCP)」を投稿していただきました。本会ホームページの学術情報コーナーをご覧ください。

(事務局)

お知らせ

11月・12月の主な行事(予定)

- 11月2日 ・第3回理事会(県獣会館)
- 11月5日 ・中国地区小動物講習会(広島市)
- 11月9日 ・山口県和牛共進会(山口中央家畜市場)
- 11月10日 ・山口県ホルスタイン共進会(山口中央家畜市場)
- 11月19日 ・中国地区獣医公衆衛生講習会(山口グランドホテル)
- 11月22日 ・日本獣医師会会長会議(東京)
- 11月23日 ・2023年動物感謝デー(東京)
- 12月1～3日 ・第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(神戸市)
- 12月7日 ・第2回小動物部会委員会(県獣会館)

事務局だより

- 10月4日 ・山口大学共同獣医学部動物供養祭(山口大学)
- 10月5日 ・山口県獣医師会検討会議(県獣会館)
- 10月6日 ・消防設備点検
- 10月13日 ・日本獣医師会総務委員会(東京都)
- 10月19日 ・第1回支部長会議(県獣会館)
- 10月23日 ・自由民主党山口県支部連合会「政策聴問会」(かめ福オンプレイス)
- 10月24日 ・会報編集委員会(県獣会館)
- 10月29日 ・時重初熊先生墓碑掃苔供養(周南市)
- 5日 19日 ・事業推進会議

次回編集委員会 11月21日(火) 13:30~

山口県獣医師会会報 第750号 令和5年11月10日(毎月1回発行)

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 豊川 剛

発行責任者 田中 尚秋

印刷 コロニー印刷